



環境フォーラムさかた(電子)環境かわら版

令和4年9月1日号 酒田市環境衛生課



<環境衛生課よりのお知らせ>

今年も「秋のクマ」にご注意ください

今年も「秋のクマ」シーズンがやってきます。

庄内のクマは、春は4月頃に冬眠から目覚め、冬は雪が降る12月頃には冬眠に入るようです。実りの秋、クマは様々なものを食べて冬眠に備え栄養を蓄えます。

林野庁が今年6月に出したブナの実の結実予測では、山形県は「並作」。昨年の「凶作」、おととしの「大凶作」に比べ改善傾向ですので、秋の出没は減る可能性はありますが、山に食べ物が少ないと里の作物もクマのターゲットになります。

秋は人間も活発なシーズン。皆さんも、山間部での畑仕事や山歩きなどの際は、クマとの出会いにくれぐれもご注意ください。

【参考】酒田市ホームページ『クマとのトラブルを予防しよう』

<http://www.city.sakata.lg.jp/kurashi/doubutsu/yasei/kuma.html>

ごみ処理施設の見学について

酒田市のごみ処理は、市と2町（遊佐、庄内）で作る「酒田地区広域行政組合」で行っており、下記①②の2つの施設で処理をしています。

No.	内 容	住 所	名 称	見学時間
①	もやすごみ 粗大ごみ	酒田市広栄町	ごみ処理施設	9:00~16:30
②	資源物、ペットボトル 埋立ごみ、水銀ごみ	酒田市北沢	リサイクル センター	9:00~16:00

①②には直接ごみの持ち込みもできるほか、施設見学も受付けております。毎年多くの小学校から見学に来てくださる他、自治会その他の団体で見学にこられることもあります。

見学のお申し込み（土日祝日を除く）は下記までご予約ください。

酒田地区広域行政組合事務局 管理課 TEL：31-2882

第2次酒田市環境基本計画 基本目標2 環境負荷の少ない社会へ ～省資源、循環型社会の形成～



「地球温暖化防止に向けて」
出来る事から始めたいとの思い

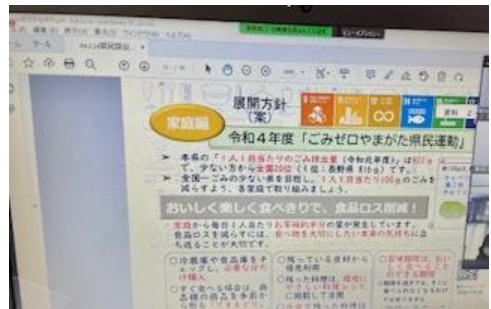
山形県地球温暖化防止活動推進員
池田 香

私は山形県地球温暖化防止活動推進員のほか、「ゴミゼロやまがた推進県民会議」の委員も務めています。山形県では「ゼロカーボンやまがた2050」事業として、第四次山形県環境計画「みんなで創るグリーンやまがた」を進めています。また令和4年度の「ごみゼロやまがた県民運動」も県民一人一人や企業、学校などを含めて進んでいます。私個人は大きな活動は出来ませんが、周囲への情報提供や関係会議への出席により、問題提起や意見発表を主な活動と

しています。

また、小さな行動の一つとして、エコバックを持ち歩くことでお店での袋の提供を断つたり、フードロスを進める山形県の運動を踏まえて食べ残しをしないよう会食の際

に余ったご馳走はお店の人に相談して持ち帰ったりするように心がけています。世の中ではSDGsやエコ活動が一般に広まっていると感じていますが、このコロナ禍第七波と言われる中、イベント事などでの食事のテイクアウトも日常的となってきています。私の家庭でも休日のゴミ袋は気がつくたびにプラスチック容器で溢れており、その多さに驚かされます。残念な事に酒田市は「一人一日当たりの家庭系ごみの排出量」が山形県内ワースト二位(令和二年度)を続けており、(処理施設の仕組みとごみ分別の仕方の違いがあるにせよ)温暖化防止活動推進員としてはちょっと考えさせられる事案となっています。一般のご家庭での努力も行



なわれているとは思いますが、人が活動すればごみが出るのは必然。これ以上何をどうすればいいのか正直分からないのが最近の状況です。それでもまずは自分で出来る事から進める気持ちで、不要な電気はこまめに消す、雑がみの分別リサイクルなどの「指一本から始められるエコ活動」 「ごみと資源の分別」を実践して行きたいと思えます。

